

第15号

発行日：平成27年7月1日

— 発 行 者 —

(公社)宍粟市シルバー人材センター

宍粟市山崎町今宿5番地15

TEL 0790-63-2029

FAX 0790-63-2039

E-mail s-silver@bird.ocn.ne.jp

URL <http://silversiso.net>



シルバー

しそう



友山公園 (波賀町安賀)

友山公園には桜や椿などが植栽され、
季節の花を見る事が出来ます。

この時期(6月)は、色鮮やかに紫陽花が咲き誇っています。

(公社)兵庫県シルバー人材センター協会安全就業推進標語

「見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験」

会員の皆様へ

副理事長就任のご挨拶

(公社)宍粟市シルバー人材センター

副理事長 **丸山好二**



平成二十七年度の定時総会で、副理事長に選任されました。未熟者ですが、皆様のご支援を賜りながら、努めてまいりたいと思っております。

どうぞよろしくお願いたします。

さて、我が国の景気状況については、回復基調にあると報道されておりますが、地方においては未だその実感がありません。

また、地方の活性化は地方創世が重要な政策として進められています。宍粟市は、具体的な方策を今検討中と聞いております。

今国会において、労働者派遣法改正案が審議されておりますが、成立する見通しとなっております。

この法律がシルバー派遣業務に直接どのように関連していくのか定かではありませんが、注視していく必要があると思います。

このような情勢の中で、当シルバー人材センターは、時宜に即した業務の運営が求められます。

受注業務の増加は厳しいと思いますが、多様なニーズに対応した適格な就業によって信頼され評価が高まるものと考えます。

会員各位におかれましては、生涯現役をめざし

てその豊富な経験と知識を充分に発揮され、活躍いただきますよう念願しております。

今後とも、宍粟市シルバー人材センターが発展できますよう、ご協力をお願い申し上げます。

役員紹介

理事長	清水 精一
副理事長	福井 惇巳
副理事長	丸山 好二
常務理事	大西 耕治
理事	山 口 照 雄
理事	森 吉 宏
理事	岡 田 周 三
理事	清 水 隆 司
理事	池 田 忠 義
監事	小 川 昌 彦
監事	岡 田 眞 一

(任期 平成二十七年五月二十八日)

平成二十九年定時総会まで

平成二十七年 定時総会開催

平成二十六年の事業報告・決算 平成二十七年の事業計画・予算等承認可決



平成二十七年 定時総会を五月二十八日（木） 本会センターにおいて、開催しました。総会では、平成二十六年の事業報告等の報告事項四件、決議事項として、計算書類及び財産目録、理事・監事の選任他の十四議案が原案のとおり承認可決されました。また、会員の皆様から貴重な御意見をいただき、魅力ある活動、生きがいづくりなどの研修や会員の加入促進に取り組みることについて理事会で協議いたします。

平成二十六年度決算は、総収入額は、二億五一五万四千七百九円、総支出額は、二億五二九万四千八百二十八円、当期経常剰余金は、△一四二万〇〇四九円となり、正味財産期末残高二〇五九万五千五百八円となりました。受託事業量は、二億三三五万二千七百五十一円となり、昨年と比べ、七〇九万六千二百六十六円、率にして三・〇％の減額となりました。

報告事項

- 第一号報告 平成二十六年 収支補正予算書
- 第二号報告 平成二十七年 事業計画
- 第三号報告 平成二十七年 収支予算書
- 第四号報告 平成二十六年 事業報告

決議事項

- 第一号議案 平成二十六年 計算書類及び財産目録
- 第二号議案 理事、監事の選任について
- ～第十一号議案
- 第十三号議案 派遣業務取り組みに伴う定款変更について

CSM

第十四号議案 理事長に対する権限委任について

平成二十六年 決算状況

平成二十六年 決算は、総収入額は、二億五一五万四千七百九円、総支出額は、二億五二九万四千八百二十八円、当期経常剰余金は、△一四二万〇〇四九円となり、正味財産期末残高二〇五九万五千五百八円となりました。受託事業量は、二億三三五万二千七百五十一円となり、昨年と比べ、七〇九万六千二百六十六円、率にして三・〇％の減額となりました。

会員数の状況

平成二十六年 末の会員数は、四九八名となり、前年に比して、二十二名の減少となりました。ここ近年は、六十歳代前半層の入会が少ない傾向が続いております。団塊の世代が高齢期（六十五歳以上）を迎えていることから、この世代前後の方の加入促進、また、女性会員の拡大を推進します。



▲清水理事長挨拶



▲ご来賓の皆様



▲総会の様子

ほのぼの家族紹介



「愛情こめて」

一宮町能倉

森岡信雄・眞守美夫妻

シルバー人材センターにお世話になって5年目になりますが、シルバーの仕事をしながら家族の一員として可愛い牛さんのお世話もしています。

奥様からのメッセージ「健康には十分気をつけて頑張ってくださいね」

会員の作品

「私の趣味」

山崎事業所 仲田 澄子

趣味で始めたパッチワークですが、今となっては、自分の楽しみでもあり、使って頂いている方からの、喜びの笑顔が励みとなっています(^.^)

そして、心を込めて出来上がった作品は、とっても可愛い子供のように、これからも、この時間を大切に、ゆったりと、有意義に過ごしたいと思っています。



茅の収納作業



遊歩道整備作業



農作業



田の植継ぎ作業

シルバーの仕事 エ・ト・セ・ト・ラ



除草剤散布



山椒の実の収穫



ボイラー管理作業

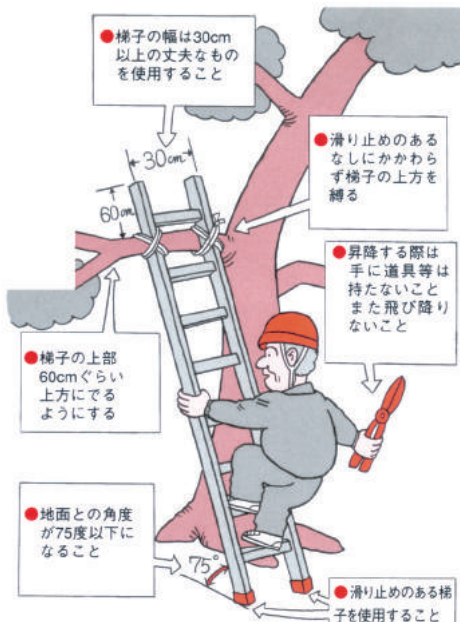


薪作り作業

安全就業について 安全心得 10ヶ条

- ①作業は、安全第一を心がけ、急いだり、あわてたりしないこと。
- ②器具類は、使用する前に必ず点検すること。
また、使用は正しい使用法によること。
- ③服装・履物は、作業に合った動きやすいものにする
こと。
また、安全帽（ヘルメット）は必ず着用すること。
- ④作業前には、必ず軽い柔軟運動をして身体をほぐす
こと。
- ⑤加齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと。
- ⑥作業現場では、常に整理整頓を心がけること。
- ⑦作業は基本的に複数人によることとし、共同作業では合図、連絡を正確に行うこと。
- ⑧仕事への行き帰り（帰宅）は仕事のうち、交通事故に気をつけること。
- ⑨健康には、常に注意し、健康な状態で就業すること。
- ⑩仕事の前日は、十分睡眠をとるよう心がけること。

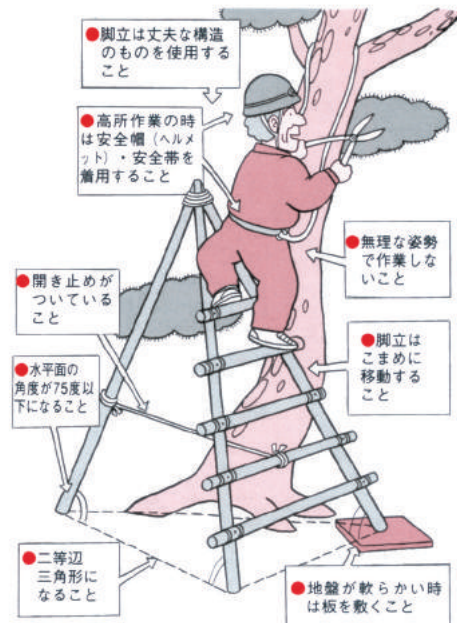
梯子使用作業



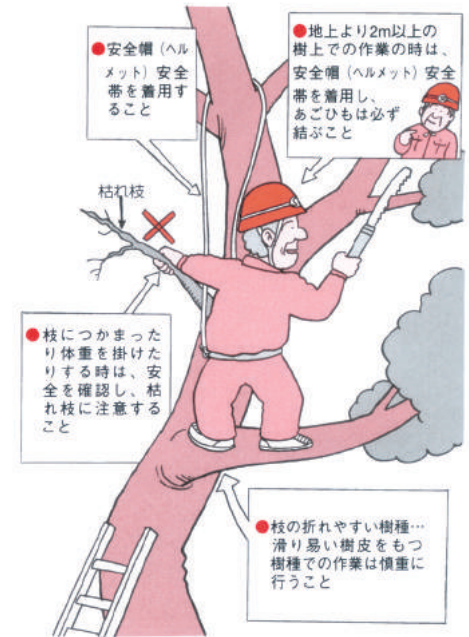
刈り込み作業



脚立使用作業



樹上での作業



平成26年度 会員親睦旅行

とき 平成27年2月24日(火)～25日(水)

行先 和歌山県白浜方面



1日目

2日目

出発!!

天気にも恵まれ総勢56名で白浜温泉の旅スタートです!



2号車(山崎・千種)



1号車(一宮・波賀)

とれとれ市場



黒潮市場

黒潮市場で昼食タイム



紀州梅干館



南部梅林見学

食後の散歩にはは…きつかった…?!



道成寺



三段壁見学

展望台から大自然の荒々しい景観の三段壁に感動しました。

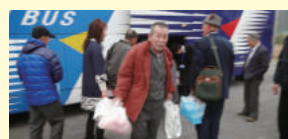


湯浅醤油工場見学



帰路へ

楽しかった白浜温泉の旅もすべての行程を終え、家族が待つ家路へと向かいます。



メインイベント!大宴会!

この楽しそうな笑顔
たまりませんね〜



清水理事長のあいさつで宴会スタートです



職員がまたまたやちやいました〜!
今話題の妖怪ウォッチ踊りました〜!



賑やかに盛り上がった大宴会も福井副理事長のあいさつでそろそろ中締めです!
余韻を楽しみながら、それぞれ二次会や温泉にと再び楽しませていただきました♪

二日間、病気やハプニング等もなく全員無事元気に過ごすことができました。参加していただいた会員の皆様、ご協力ありがとうございました。

会員のひろば



千種事業所
大山 美次

『地域での居場所もシルバー参加で』

「たたらとは……低く絞り出すようなビデオ映像の音声。この言葉は、(旧)千種町時代に民族資料館建設を担当した機器からの文部省(当時)監修のテープから流れた『和鋼風土記』の一声である。」

その、たたら関係の学習館に会員として派遣していただいてから三年目を迎えた。それまでは、農業や家事の雑用に追われていた毎日であったが、退職後の新しい体験を通して地域との接点の大切さも感じながら、仕事をさせて頂く事に感謝している日々である。

「新しい友人・生活の充実感がある」など社会参加の意義を探索しつつ毎日を元気に送る秘訣は「キョウイク」「キョウウオウ」が大切との記事が目についたが、教育と教養ではなく「今日、行くところがある」「今日、用事がある」と理解するらしい。行くところが、用事もあって、自分の役割があれば正に「鬼に金棒」の生き甲斐。

現役時代に培った知見や経験を今度は地域づくりで生かす生活を送りたいものだとつくづく思いつが、その、後押しや手助けにシルバー人材センターの果たす役割は小さくない。今日も健康で勤務出来ることに感謝しながら、田圃の出来具合も気になる昨今である。



波賀事業所
可藤 勝

『ご飯が食べたいよ』

「シルバーには関係ないかもしれませんが、私の子供時代が未だ忘れ得ないので今から書きます。最後まで読み続けて下されば幸いです。」

昭和十八年、大東亜戦争の真最中、当時の私は国民学校の二年生でした。

お国の為に食糧増産、学校の運動場を耕して大豆やさつま芋を作り、運動場は朝礼が出来るだけしか空いていない。上級生は校庭の桜を切つて炭にする。私は校庭の一部四メートル程の大豆を作る畝を持たされた。収穫したときの嬉しさは今も忘れない。

西谷国民学校三年生になった。今日は『ヒロジ』と言つ山へ外出しに、また今日は『ソロ』の山と言つた有様、学校で勉強するのは時々で、何しろ教科書がなくガリ版摺りの紙二〜三枚ホッチキスしたものが教科書だった。

勉強よりも仕事だ。この様な日々が続いた。

私は言った。「先生なんでこんな事ばかりするのですか」先生は言った。「お国の為だ」小さいながらも私は頑張りなばと一生懸命だった。食糧はなくなる。全ての物は配給制度で、ある日、生魚の配給があり、それはフカやエイのぶつ切りでした。当時は交通が不便で田舎へ来た時は半分腐っていたが、母が炊いてくれたので食べたがエッチが出そつだった。でも、中毒にはならなかった。自分だけでは無い、当時の者は皆がそんな目にあつてきただろう。

その様な生活から二年が過ぎ昭和二十年八月終

戦、私は西谷国民学校四年生だった。食糧がない当時、私の家は九人家族の小作農家でした。田舎でありながら食べ物が無い。学校から帰ると直ぐに、おばあさんと裏山へ山菜を採りに毎日のように行った。クサギ菜・ヨモギ・リョウボ・ママコ菜・ホウコ・タンポポの和え物・豆トコ・専管フスマのだんご等、今思つと野獣のような生活でした。

さて、百姓にとつては待望の秋が来た。お米が取れると思つた矢先、台風豪雨で橋は流され自宅の田圃も水害で稲穂は三十センチ程の土砂の下に埋もれた。小作農家は年貢米が足りない。父は来春取れた麦で返済すると言つていた。当時の地主と小作の意味が子供の自分には解らなかつた。翌五月出揃つた麦の穂はヒョウに叩かれ全滅でした。

「ご飯が食べたいよ」二度の食事には目の玉の映るような、おかゆや雑炊で学校へ行くにも弁当がない私は休校した。「学校に行きたい」お父さんに竹筒を作つてもらい雑炊を入れて弁当にした。一日目の昼は学校の裏山で一人雑炊をすすつた箸はいらない。二日目には勉強機の横のクギに掛けた。少し匂いがしたが仕方がない、横にすれば出てしまう。その時、クラスの一人に見つけられた。「これがお前の弁当かいや」と言つて皆に見せつけて校舎の窓から筒ごと捨てられた。残念で腹が立って涙も出ない。授業は習字の時間前だった。文鎮で相手の頭を殴つた。血がにじんだ。「悪い事をした」と気付いた時は遅かつた。空き腹を撫せながら下校の道は遠かつた。

「お母ちゃん、ご飯が食べたいよ、硬い弁当を入れてよ」と言つて母と共に涙した。

その当時と今の生活を思い出しながら、ここに記して終わります。

会 員 募 集



シルバー人材センターの会員となり
健康で明るい仲間づくりをしましょう!!

市内にお住まいで満60才以上の健康で働く意欲のある方は
いつでも登録し会員になれます。《年会費3,000円》



ニューフェイス紹介



松本 晃【就業開拓員(派遣)】

今年の三月から(公社)兵庫県シルバー人材センター協会より派遣され、就業開拓員として務めさせていただいております松本です。
シルバー人材センターの仕事を、会員の皆様、地域の皆様へ推進してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。



前田 正明【宮事業所長】

この三月末をもちまして穴粟市役所を定年退職し、この度、ご縁でシルバー人材センター一宮事業所にお世話になっております前田です。
持ち前の明るさで頑張りますので、どうかご支援よろしくお願いたします。



立花 功【次長兼山崎事業所長】

少しでも地域のお役に立てればと思いい、今年の四月よりお世話になっております立花です。
会員の皆様、地域の皆様と私も含め、生きがいのある人生を送っていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

お知らせ

交通安全講習会・ボランティア活動・健康講習会を今年度も予定しておりますのでご参加ください。

お願い

アンケートを配布いたしますのでご協力お願いたします。

編集後記

知ってましたか?…蚊に刺されなくなったらストレスが溜まっている証拠なんですって。

蚊は人間が出す炭酸ガスや温度、乳酸に反応して刺すそうで…そのため、代謝が高く活発な人は蚊に刺されやすい。人間がストレスを感じるとうる物質は蚊が嫌いなため、刺されなくなる。人間の防衛本能によるものとも言われているようです。

…蚊に刺されにくいんやうって自慢している人は、実はストレスいっぱい?!なのかもね(笑)